共立女子短期大学　生活科学科　2023年度カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP 1
【幅広い教養】
生活科学科に関する専門分野の学修を多角的にとらえるための幅広い教養を身に付けている。

DP 2
【専門知識・実践的技能の活用】
グローバル化する実社会で求められる多様な知識や技能の活用に必要な、生活科学に関するメディア、デザイン、食、健康、情報、環境、コミュニケーション等の専門的知識・実践的技能を体系的に理解・修得し、活用することができ

DP 3
【課題発見・解決力】
実社会における諸課題について、問題の本質を見抜く洞察力と判断力を身につけ、自ら問題を発見して解決する能力を身につけることができる。

DP 4
【探究・継続力】
多角的な視点から実社会における諸課題を客観的に捉え、問題を解決するために自ら探究し、生涯にわたって学ぶ姿勢を身につけることができる。

DP 5
【発想力・提案力】
課題を発展させる発想力・表現力を培い、他者に的確に伝え、他者の提案を柔軟に理解し、高め合い、解決策を見出すことのできる能力を身につけることができる。

DP 6
【リーダーシップ】
思いやりのある誠実で協調性に富んだ人間性を身につけ、他者を尊重しながら自らの考えを冷静に主張し、他者を支援することでリーダーシップを発揮することができる。

カリキュラム・ポリシー

卒業研究

コース専門科目・特別演習科目（発展）

CP2-3
・生活科学の専門教育科目を学修するにあたって、ＩＴメディアコース、生活デザインコース、食・健康コースの3つのコースに沿って、体系性、順次性を踏まえて、2年次に主としてコースの学びを深めていく科目を配置する。
・2年間の集大成として、課題に基づいて学生が主体的に研究・制作に取り組む「卒業研究」をコース共通科目として配置する。
・ 3つのコースの専門科目を一定の範囲内で横断的に履修し、幅広い知識と教養を育成する。
・ 生活科学科と文科のカリキュラムの枠を超えた「短期大学開放科目」を配置し、学生の主体的な学びを促し、関心のある領域の問題意識を深め、考察力を育成する。

ＩＴメディアコース（発展）
ＩＴメディアコース（発展）
サステイナブル社会論
ユニバーサルデザイン論
情報メディア演習

生活デザインコース（発展）
和装デザイン実習

食・健康コース（発展）
フードコーディネート論
女性と健康
食品の消費と流通
フードスペシャリスト論
フードスペシャリスト演習

ＩＴメディアコース（発展）
ＤＴＰ演習Ｉ
Ｗｅｂデザイン演習
マーケティングリサーチ演習

生活デザインコース（発展）
ファッションビジネス論

食・健康コース（発展）
調理学実習応用

ＩＴメディアコース（発展）
フードマーケティング演習
DTP演習Ⅱ

生活デザインコース（発展）
インテリアコーディネート論
イラストレーション（実習）
彫金実習
インテリア製図演習Ⅱ
インテリアCAD実習応用

食・健康コース（発展）
フードパッケージ実習

ＩＴメディアコース（発展）
ITパスポート活用演習（ワークショップ）

生活デザインコース（発展）
アパレル企画演習

食・健康コース（発展）
スイーツ実習

コース専門科目（基礎）

CP2-2
・生活科学の専門教育科目を学修するにあたって、ＩＴメディアコース、生活デザインコース、食・健康コースの3つのコースに沿って、体系性、順次性を踏まえて1年次に主としてコースの基礎的科目を配置する。
・ＩＴメディアコースでは、メディアについての社会状況を理解する「①メディア社会」、デジタルメディアによるクリエイティブなCGや動画作成のスキル、企画・プレゼンテーション能力を養う「②メディア表現」、ＩＴパスポート試験の合格に必要な知識や情報活用能力を身に付ける「③ＩＴメディア」の3分野の主として基礎的科目を配置する。
・生活デザインコースでは、生活に必要な道具や製品を対象に、形、大きさ、色彩などの要素について学び、デザインする能力を身に付ける「①プロダクトデザイン」、衣服やその装い方を対象に、アパレルの制作からマーケティング、企画などの実践的な応用力を養う「②ファッションデザイン」、住居や住空間を対象に、知識やその原理に加えて、設計、製図、インテリアＣＡＤなど初歩から応用までを学び、提案する能力の修得を目指す「③インテリアデザイン」の3分野の主として基礎的科目を配置する。
・食・健康コースでは、調理の理論と実践や食品の魅力的な伝達手法など、食をデザインするために必要な知識・技能を養う「①食デザイン」、栄養と健康の関係といった健康づくりの基礎的素養、健康に関する問題発見から解決手法を養う「②健康マネジメント」、フードスペシャリスト資格取得に必要な知識やフードコーディネートの表現手段を身に付ける「③フードビジネス」の3分野の主として基礎的科目を配置する。

ＩＴメディアコース（基礎）
ＩＴメディアコース（基礎）
メディア社会論
ポップカルチャー論
ITパスポート論

生活デザインコース（基礎）
ファッションデザイン論
住環境デザイン論
デッサン（実習）
カラーコーディネート演習
テキスタイルデザイン実習
アパレル制作実習
インテリアＣＡＤ実習基礎
インテリア製図演習I

食・健康コース（基礎）
調理学
食物基礎科学
栄養学
食品学
食品衛生学
嗜好評価処理演習

ＩＴメディアコース（基礎）
ソーシャルメディア演習
メディアカルチャー演習

生活デザインコース（基礎）
生活デザイン論
ファッションデザイン演習

食・健康コース（基礎）
食育演習

ＩＴメディアコース（基礎）
ＣＧ演習Ａ(イラストレーター)
ＣＧ演習Ｂ(フォトショップ)
データ解析演習
ITパスポート演習

生活デザインコース（基礎）

食・健康コース（基礎）
調理学実習基礎
フードメディア演習

ＩＴメディアコース（基礎）
メディアデザイン論
アニメーション制作演習

生活デザインコース（基礎）
インテリア設計演習

食・健康コース（基礎）
食品学実験

ＩＴメディアコース（基礎）

生活デザインコース（基礎）
生活プロダクトデザイン演習

食・健康コース（基礎）

コース共通専門教育科目

CP2-1
・生活科学の基盤となる専門教育科目をＩＴメディアコース、生活デザインコース、食・健康コースのコース共通専門科目として、体系性、順次性を踏まえて配置する。
・生活科学の学問分野の基礎的な知識・技能を修得する『生活科学基礎系科目』、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けたキャリア発達を促す『キャリア支援系科目』、自ら問題を発見し解決する能力を養うPBL型授業や、学生が主体的に卒業後の進路選択や学修に取り組む『特別演習系科目』をコース共通科目として配置する。

生活科学基礎系
衣生活とSDGs
食生活とSDGs
住生活とSDGs
PC活用演習
CG基礎演習

キャリア支援系
メディカルクラーク入門

特別演習系

生活科学基礎系

キャリア支援系

特別演習系

生活科学基礎系
サイエンスリサーチ演習

キャリア支援系
キャリア実務基礎（公務員・SPI対応）
メディカルクラーク演習（レセプト）
リテールマーケティング演習（販売士）

特別演習系
チャレンジ・ゼミナール（就職・編入チャレンジ）

生活科学基礎系
サイエンスリサーチ演習
キャリア支援系

特別演習系

生活科学基礎系
サイエンスリサーチ演習

キャリア支援系
キャリアデザイン演習（就職・編入サポート）

特別演習系

教養教育科目

CP1
学生を、ひとりの女性・ひとりの人間として日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加・貢献して責任ある役割を果たす人材として育成するために、以下の「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップコア」に区分する。

CP１－３．協働とリーダーシップコア	・他者と協働しながら課題解決に導くための協働性やリーダーシップを養う科目群を編成する。 ・他者と協働し様々な課題解決を行なう中で、自らの価値観と多様な価値観を調整するために必要なコミュニケーション力やリーダーシップを身に付けることを目指して、PBL（Project Based Learning）の手法を用いて授業を行う。
CP１－２．創造とキャリアコア	・新たな価値を創造し社会と積極的に関わっていくための基礎的な力を身につけるとともに、社会人として必要な教養を養う科目群を編成する。 ・語学教育においては、プレイスメントテストの結果を踏まえた習熟度に基づくクラス編成を取り、グローバル化が加速する現代の社会生活で必要となる英語コミュニケーション力を身につけるために、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を必修とし、学生の習熟度や希望に応じて体系的に科目群を編成し、英語によるコミュニケーション力とTOEICのスコアアップを目指す。 ・情報リテラシーにおいては、情報化が加速する現代の社会生活で必要となる数理・データサイエンス・AIに関する基礎的なリテラシーを身に付けるために、「データサイエンスとICTの基礎」を必修とする。 ・幅広い教養を身に付け、多様な視点で社会を幅広く俯瞰し必要な教養を身につけるために「人間を理解するための教養」「社会を理解するための教養 」「自然を理解するための教養」「身体と健康を管理するための教養」「キャリアを創造するための教養」より2単位を選択必修とする。
CP１－１．自律と努力コア	・初年次教育科目・キャリア教育科目として、客観的に物事を理解し、自己を確立し生涯学び続けるための基礎的な力を養う科目群を編成する。 ・学生生活への適応、論理的な考え方や文章作成技術の定着、ライフプランやキャリアプランの形成をはかるとともに、社会人として果たすべき責務を学ぶために、少人数で行う「基礎ゼミナール」を必修とする。

短期大学開放科目

＜文科＞日本文化・表現コース
物語の研究Ⅰ　物語の研究Ⅱ
近代小説の研究Ⅰ　近代小説の研究Ⅱ

＜文科＞グローバル・コミュニケーションコース
日英語対照研究Ⅰ　日英語対照研究Ⅱ
アメリカ文化と多文化共生社会
映画で楽しむアメリカ文学
エアポート・エアラインの英語
ホテル・レストランの英語
販売・ツーリズムの英語
通訳演習
ビジネス英語
プレゼンテーションスキル
病院・受付の英語
翻訳演習
TOEIC演習Ⅰ　TOEIC演習 Ⅱ
幼児教育・保育英語（入門）
幼児教育・保育英語（発展）

＜文科＞心理学コース
児童福祉論
音楽とこころ
精神障害者保健福祉論
アートセラピーと化粧の心理学
コミュニケーション心理
文学に見る行動心理

＜文科＞コース共通科目
コミュニケーション論

＜文科＞日本文化・表現コース
ことばの仕組みⅠ　ことばの仕組みⅡ
現代のことばⅠ　現代のことばⅡ
日本文学・文化の歴史（古典）
日本文学・文化の歴史（近現代）
物語を読む
近代小説を読む
児童文学論
映画・演劇論
映像メディア論
アニメの物語学

＜文科＞グローバル・コミュニケーションコース
Reading (Intermediate)
Reading (Basic)
Writing (Intermediate)
Writing (Basic)
Listening (Intermediate)
Listening (Basic)
Speaking (Intermediate)
Speaking (Basic)
Pronunciation
映画で学ぶ英語
ポップソングで学ぶ英語
エアポート・エアラインの英語
ホテル・レストランの英語
販売・ツーリズムの英語
通訳演習
病院・受付の英語
翻訳演習
TOEIC演習Ⅰ　TOEIC演習 Ⅱ
幼児教育・保育英語（入門）
幼児教育・保育英語（発展）

＜文科＞心理学コース
発達心理学Ⅰ　発達心理学Ⅱ
認知心理学
教育心理学
臨床心理学Ⅰ　臨床心理学Ⅱ
健康心理学
カウンセリング論
社会心理学
消費者の心理
パーソナリティ心理学

＜文科＞コース共通科目
文章表現法
コミュニケーション論
伝える技術
伝統文化論
地域文化論
サブカルチャー論
ジェンダー論
環境文化論
キャリアデザイン演習（就職・編入サポート）
出版メディア論
ワークライフバランスと健康
秘書実務を学ぶⅠ　秘書実務を学ぶⅡ
ホスピタリティを学ぶ

DP1との関連性がとても高い科目	DP2との関連性がとても高い科目	DP３との関連性がとても高い科目	DP4との関連性がとても高い科目	DP５との関連性がとても高い科目	DP6との関連性がとても高い科目

アドミッション・ポリシー

AP1-1
【知識・技能】
高等学校の教育課程を幅広く修得している。

AP1-2
【知識・技能】
生活科学の専門分野を学ぶために必要な基本的な知識・技能を有している。高等学校までの履修内容のうち、「国語」「外国語」を通じて聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎技能や、「数学」「理科」を通じて科学的思考の基礎を身に付けている。

AP2
【思考力・判断力・表現力】
他者の意見や考え方を尊重し、自らの考えを整理・表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している。

AP3-1
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
生活科学の領域に強い関心を持ち、入学前教育を含む専門分野に関する課題に対し、主体性を持って最後まで取り組む態度を有している。

AP3-2
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
リーダーシップを発揮し、他者と協力して何事にも積極的に取り組む意欲を有している。

※各科目は「カリキュラムマップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。